

# 旭ヶ丘キリストの教会

## 主日礼拝順序

2025年11月9日

司会：千田俊昭  
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 476 「われ贖われて」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖 歌 399 「カルバリ山の十字架」	一 同
教会学校	絵 本 「ダニエル物語」 ②	牧 師
讃 美	聖 歌 396 「十字架のかげに」	一 同
聖書朗読	使徒行伝19:23-27	
奨 励	使徒行伝の福音(第70回)	牧 師
主 題	「信仰による勝利」	
讃 美	聖 歌 532 「光の高地に」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 376 「父、御子、御霊の」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	イザヤ書第40章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

## 旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



### 《今週の歩み》

11/9(日)聖日礼拝  
/10(月)  
/11(火)  
/12(水)13:牧師祈会(上杉)  
/13(木)8:30CBSホテル10:祈会  
/14(金)10-12:OBSクラ  
/15(土)13-16子供オブハウス



《利比ノ国分啓治像前で Mr. Terada と》

### 《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に來れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

### 語句解説

### 「エペソのアルテミス」( Ἄρτεμις Artemis )

ラテン名はディアナ。ギリシャ神話のゼウス神の娘で、アポロンと双子の姉妹。この女神は、別名をデメテルともいい、狩猟の女神、出産と肥沃の守護者であり、純潔と処女性の象徴として崇拝されていた。

使19章に出てくるエペソのアルテミスは、古い昔から小アジア地方で礼拝されていた壮大な母神の地方的形態であり、神々や人間の母神として崇拝されていたものである。いわゆるギリシャ神話のアルテミスとはかなり性格を異にしているが、やはり豊穡の女神。

イエス・キリストの福音が最初に伝えられた頃、「全アジア、全世界の拝むこの大女神のご威光」(使19:27)と叫ばれるほど繁栄し、当時の世界30箇所以上で礼拝が行われていたことが明らかにされている。アルテミスの像は、その神殿の中にある内殿に安置されていた。「天から下ったそのご神体」(使19:35)という表現から、黒い隕石を刻んで造ったものであらうと思われる。エペソのアルテミス像は古代からの東洋的な象徴主義で表現され、肥沃の象徴としての多くの乳房、小果実の飾環、その全身に密生する種々の動物は、彼女が動植物の保護者であることを示しており、また、頭にかぶった冠に刻まれた3つの門のある城壁はエペソの守護神であることを示している。毎年アルテミスの月(太陽暦の3—4月)に行われる祭はきわめて官能的で、神殿売春を伴っていた。そこに多くの参詣人や観光客が訪れ、莫大な富をもたらしていた。

その神殿は古代七不思議の一つとされている。前6世紀に着工され、約200年の歳月をかけて完成した。その後火災によって焼失したが、再建された神殿が発掘されてその全貌が明らかになった。その広大さは、アテネのパルテノン神殿の4倍で、敷地の上に13階段を経て上る神殿は奥行103メートル、間口43メートルの広さであり、そこには直径1.8メートルの大理石円柱が100本立てられ、そのうち36本には高さ3メートルの所まで等身大の女人群像が浮彫にされていた。

また、アルテミスの神殿の存在によって巨大な収益を得ていた多くの集団がエペソに存在していた。その中には神殿の模型を大理石製、焼き物製、銀製などで作って参詣人たちに売っていた人々がいた。ことに銀細工人組合は銀製の神殿模型の上にすえられたアルテミスの銀像を製作し莫大な利益を得ていた。キリストの福音が使徒パウロによってこのエペソに伝えられた時、当然この偶像産業社会との衝突が起った。銀細工人デメトリオスが同業者たちを扇動して暴動を引き起し、エペソの町は一時パニック状態になったが、エペソの書記役が公平中立的に群衆の興奮を静めることに成功してパウロたちは難を免れた(使19:23-41)。

